

研究に関する情報公開文書

公開期間：研究実施許可日から 2027 年 3 月 31 日まで

研究課題名

看護師対象の超音波ガイド下末梢静脈穿刺教育から見えた技術定着への課題

研究機関および研究責任者

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター

研究責任者 診療看護師 新坂 享子

研究の目的

超音波ガイド下末梢静脈穿刺ハンズオンセミナー受講者を対象に、受講 1 年後の自己申告による実施状況と、実践を妨げる要因、継続研修への要望を明らかにし、今後の教育体制および支援体制の改善に役立てることを目的とします。

研究の対象

2024 年 10 月 18 日に開催した超音波ガイド下末梢静脈穿刺ハンズオンセミナーの受講者 21 名のうち、研修直後または研修 1 年後の無記名アンケートに回答した方を対象とします。回答者は研修直後 20 名、研修 1 年後 17 名です。

研究の方法および利用する情報

研修の教育効果と教育内容の改善を目的として実施済みの Google フォームによる無記名アンケートを、研究実施許可後に二次利用します。利用する情報は、超音波ガイド下穿刺の実施経験、実施件数、自己評価による技術習得状況、実施できない理由、継続研修の希望、教育への要望です。研究目的で新たなアンケートや介入は行いません。

研修直後と研修 1 年後の回答は個人単位で対応付けできないため、各時点の回答集団を別々に集計します。同一人物の変化を評価したり、研修が変化の原因であると判断したりする解析は行いません。

個人情報の保護

研究用データには氏名、職員番号、メールアドレス、回答時刻など個人を特定または推定し得る情報を含めません。少人数の属性の組合せや自由記述から回答者が推定されないよう、少数例はまとめて示し、自由記述は内容を一般化して公表します。研究結果を人事評価に用いることはありません。

研究への協力と利用停止の申し出

本研究は既に収集された無記名アンケートを用いるため、新たな回答や負担をお願いすることはありません。研究への利用を希望しない場合は、院内掲示等で公開開始した日から 4 週間以内に下記へご連絡ください。解析はこの期間の経過後に開始します。ただし、回答は無記名で対応表もないため、申し出た方の回答を研究用データから特定できない場合には、その回答のみを除外することができません。問い合わせや申し出によって不利益を受けることはありません。

研究対象者に生じる利益および不利益

研究対象者への直接的な利益はありません。身体的な侵襲や介入はなく、主なリスクは情報漏洩や少数回答から個人が推定される可能性です。アクセス制限、集計方法の工夫および自由記述の一般化により、このリスクを最小化します。

研究データの管理および廃棄

研究データはパスワードで保護された院内端末に保存し、研究責任者および研究分担者のみが取り扱います。研究終了後 5 年間保管し、その後、電子データは復元できない方法で削除します。本研究以外に二次利用する場合は、改めて必要な倫理審査等の手続きを行います。

研究成果の公表および利益相反

研究成果は関連学会で発表し、必要に応じて学術雑誌へ投稿します。個人が特定される形で公表することはありません。本研究に研究費の使用はなく、研究者に開示すべき利益相反はありません。

問い合わせ先

研究責任者 新坂 享子
独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター
看護部長室・救急科 診療看護師